

大阪市立市岡東中学校

元気アップ便り

元気アップコーディネーター 千葉清二

こんにちは。ようやく学校が再開され、6月15日からは通常の授業になる予定です。しかし、新型コロナウイルスはなくなったわけではなく、医学専門家は第2波、第3波がやってくるだろうと予想しています。歴史を振り返っても有名な「スペイン風邪」はおよそ100年前に世界中でいわゆるパンデミックとして猛威をふるいました。世界中で死者が少なくとも4000万人ともいわれ、第1次世界大戦の死者1000万人をはるかに上回り、第1次世界大戦の終結がおかげで早まったといわれています。日本でも約45万人の人が亡くなつたとされています。当時の日本政府は原敬内閣でしたが、内務省も「マスク着用や患者の隔離」を呼び掛けていました。しかし、残念ながらテレビやラジオもなく新聞も一般家庭すべてに行き渡っていたわけではないので、警察主体で劇場や寄席、理髪店、銭湯などで「衛生講話会」として予防を呼びかけました。けれども、感染は広がり島村抱月が亡くなり話題となりました。与謝野晶子も11人いた子供の一人が罹患すると家族全員が感染してしまいました。与謝野晶子は「感冒の床から」と題した論評で政府を批判しました。ただ、当時の光学顕微鏡の倍率ではウイルスを見ることはできないし、現代医学とはずいぶん違つていましたので、やむを得ないこともあるでしょう。

人類はその発生以来ウイルスとの戦いであったといつても過言ではありません。ヨーロッパで1348年に始まるペストの大流行で当時の人口の3割近くの7000万人もの人が犠牲になったとされています。日本でも有史以来疫病に悩まされました。右下のイラストは今SNSで話題になっている「アマビエ」という妖怪です。これは江戸時代の末期の「かわら版」に登場したものです。これによりますと肥後の国（今の熊本県）の海から現れ「疫病が流行るから自分の姿を映して人々に見せよ」と告げ、「お守り」とされました。厚生労働省のホームページのマスコットにもなっています。厚生労働省もなかなかいいセンスですね。

元気アップのお知らせ

6月15日から通常通りの授業が実施される予定ですので、「元気アップ学習会」もスタートします。詳しい内容や日程は、後日「元気アップ学習会のお知らせ」を配布しますので、それをご覧ください。上述したように新型コロナウイルスはなくなつていません。政府の「3密」は確かに有効ですが、絶対ではありません。やはり私たちはウイルスに対しては「免疫力」を強くすることが重要です。充分睡眠をとり、偏食をせずイライラしないで、明るい学校生活を送るように心がけてください。

